

音 楽 科

学習について

1. 教科指導のねらい

音楽は音を素材とした芸術であり、感じる心や表現する気持ちを養い、より豊かな感性を育てていく教科です。表現活動、鑑賞、基礎知識を学習しながら、より豊かな感性を身につけていきましょう。

・表現活動

歌唱、リコーダーを中心に取り組みます。歌うこと、演奏することは身体全体を使った表現活動です。歌うこと、演奏することの楽しみ、美しいハーモニーを作ることの喜びを味わうために、発声や気持ちの込め方などを学んでいきます。

・鑑賞

作曲者について、時代背景に触れながらイメージを膨らませます。そして聴いた曲を自分の心の中で感じ、自分の言葉で表現してみましょう。西洋の音楽、世界・アジアの民俗音楽、日本の伝統音楽等鑑賞します。

・基礎知識

音楽をより正確に表現するために、拍子・調性等の聴き取り練習や音楽用語・音階を学習します。

2. 授業に臨むにあたって

音楽は心と体で楽しむものです。私達が感動したり、おかしくて笑ったり、悲しくなった時等は心が素直になるものですね。音楽でさまざまなことを感じるときも同じなのです。ですから、音楽室に入った瞬間から心を開放してあげてください。

音楽室への移動が遅れたり、忘れ物をしたり、授業中の私語や教材を粗末にしたりとけじめのない状況では授業は進みません。充分気をつけてください。



3. 評価について

以下の4項目を中心に評価していきます。

- ①演奏テスト（歌、リコーダー等）
- ②定期テスト、実音テスト（各学期1回）
- ③提出物
- ④授業態度

家庭学習について

演奏テストではどんなに大きな声でも、楽譜を無視したものや、授業で習ったことを生かせなかった表現の場合は評価が下がります。日頃の授業での取り組みを大切にしてください。皆さんの努力を大切に評価したいと思っています。

家庭でも音楽に親しむことはできます。例えば、CM やドラマの BGM などでもいろんな種類の音楽が使われています。少し意識してテレビを見るだけでも、たくさんの音楽を知ることができます。その場面とそこに使われている音楽との関係などにも注意して聞いてみると、よりいろんな音楽に親しむことができると思います。

